



## 2023年度夏季手当満額回答に向けて 個別総対話で

## PART 5

# 寄せられた若手社員の声

- 金額を少ない理由を言わないことが不誠実。「総合的な判断」ばかり。理由を言うと状況が良くなった時に上げなければならない。コロナを理由にするとコロナが終わった時に戻さざるをえないのだろう
- 臨電も走り、人が戻っていることは訴えたい
- コンビニで買い物すると値上げしていることは感じる
- 賃金が安いと仕事のモチベーションは下がる
- GWはコロナ前に戻りつつあるのでは？次のボーナスや来年の春闘では「先行き不透明」という言い訳は使えなくなる。期待はしたい。報道でも2018年と同じくらいの人出と言われている
- 何とか生活できるくらいしか出ていない
- コロナが5類になったら出かけるだろうしお金もかかる
- 人が足りない。運転士も予備者が減った。融合でやることが増えた。効率化と言うけど賃下げにされている。同じ給料で役割が増える。仕事が水増しされていると感じる。融合は誰のため？何のため？社員の発意で業務交流PTが営業勉強会を企画しているらしい。ジョブも同じで社員の発意。たとえダメだったとしても「現場レベルなので。」となる。どちらに転んでも良いようにしている
- 払う金額は誰でも同じ。全体的に上げてほしい。格差は付けないでほしい
- 「総合的に勘案」という言葉が多く、説得力がない

夏季手当要求満額獲得のためJR東労組に結集しよう！